

平成19年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	砂防課
実施機関	西部総合県民局 県土整備部<美馬>

【事業の概要】

事業の種類	砂防	砂防ダム
事業箇所名	徳島県美馬市木屋平川上(六吹川通常砂防事業)	
事業の規模・状況	720	m 中規模事業 施工段階

【事業の目的及び概要】

本事業は、昭和51年災害の災害復旧事業により施工された流路工が、上流からの著しい土砂流出により摩耗・老朽化したため、川幅を広げるなどの改築を行い、河岸等からの過剰な土砂流出の防止を図り、下流の人家密集地の安全を確保するものである。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○		○	○	○		○		

【特に配慮した環境要素と実施事項】

砂防事業は、山地や渓流の自然環境の良好な箇所で実施することが多いため、計画段階から森林への影響や渓流環境の改変を最小限とするともに、濁水の抑制、排ガス対策等、施工段階においても自然環境への影響に配慮している。
大気環境(排ガス対策型建設機械の使用・低騒音型建設機械の使用)
水環境(施工中は仮設水路を設け工事に伴う濁りを緩和した。)
生物多様性(魚道は、最適な生息環境を実現するため隔壁型からハーフコーンに変更した。)
景観(自然石の利用により、自然に調和した景観の創出。)
廃棄物・温室効果ガス等(既設構造物の撤去等は、再資源化施設への搬出を行った。護床ブロックは転用可能なものは、現地再利用をし、建設副産物の発生を抑制した。)
自然とのふれあい(護岸を緩傾斜化し、水際のアプローチを可能とした。)

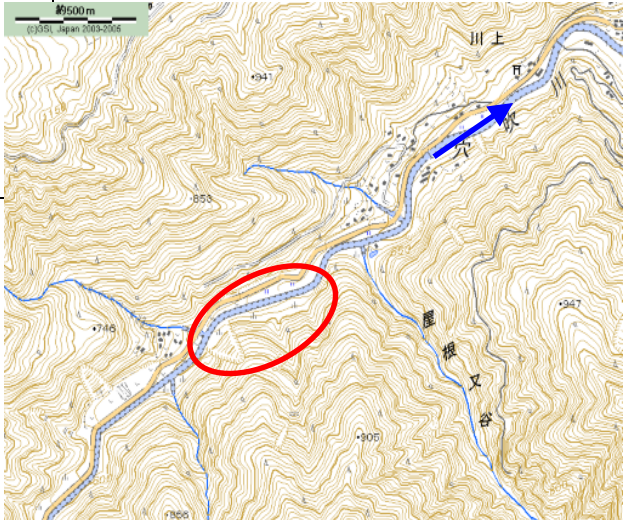
【目標に対する達成状況】

排ガス対策型・低騒音型建設機械の使用、仮設水路設置に伴う濁りの緩和、漁業組合との調整、現地発生材の再利用に努め、大気・水環境等に配慮することができた。

【実施事項に対する評価】

実施者	実施箇所周辺の環境への配慮、事業主旨の範囲内での自然環境へ配慮した計画になっている。
主管課	適切な目標設定がなされていると考えられる。
専門家	上下流に未改修砂防堰堤が多数あるため、効果は限定的だが、垂直だった堤体を全面斜路工へ改め、中央にハーフコーン型魚道を設置したことは、魚類などの水生生物の移動を容易にすることが期待できる。特にハーフコーン型魚道の設置は県事業としては先駆的であり、効果の検証(生物の移動だけでなく、土砂堆積による閉塞の程度なども含めて)を行うと共に、普及を図ることが望ましい。

位置図・平面図等



写真・図面等

